



- 甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から  
～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～ 米山 俊彦
- あずさ部長主題：めあて望み ピーター・マウントフォード (甲府)
- 東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)
- アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)
- 国際会長主題：太陽の輝きと笑顔 チャーミング・シェン(台湾)

甲府やまなみ  
ワイズメンズクラブ  
2024年 7月  
No.22

●今月の強調目標  
キックオフ  
PR

●今月のことば  
「私はこの言葉を言うために戻ってきたんだ。ありがとうって。」  
土橋 順 君 選

今月の例会案内 (第 22 回)

- 日時：2024年7月3日(水) 18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- 司会：仙洞田安宏 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 直前会長
- ・ワイズソング 一 同
- ・会長引継ぎ・バッジ交換
- ・新会長あいさつ 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 土橋 順 君
- ・ワイズディナー
- ・定期総会
- 【第1部】 議長 藤原 一正 直前会長  
事業報告・会計報告・監査報告 他
- 【第2部】 議長 米山 俊彦 会長  
新年度事業計画・予算案 他
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一 同
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

6月のデータ

会員数:12名 例会出席:メンバー4名  
ゲスト:林部光様、平賀佳雅・菊池央人  
(山梨YMCA)、ビジター:松村禎夫(甲府  
21) 例会出席率:33%、メーキャップ:  
藤原・遠藤(恭)・大澤・仙洞田、修正出  
席率:67%、ニコニコ:3,000円

ハッピーバースデー

メン 松本 公夫 (7/23)  
パートナー 遠藤 友美 (7/14)

●●●● 会長メッセージ ●●●●

「千里の道も一歩から」 会長 米山 俊彦



ワイズメンズクラブの新年度がスタートしました。甲府やまなみクラブにとりましては、2022年の設立から3年目を迎えます。そして、今年度から藤原前会長を引き継ぎ、甲府やまなみクラブの会長を務めさせていただきます。よろしくお願

いいたします。藤原前会長には、2年間に亘り、クラブ発展のためにご尽力いただき、感謝を申し上げます。

私は、会長就任にあたり、会長主題として「千里の道も一歩から」～一歩ずつ着実な歩みを進めましょう～を掲げました。やまなみクラブの設立とともに、ワイズメンズの活動に参加させていただき、永い歴史に培われた活動の奥深さや広がりとそれに携わってこられた先輩会員の方々の熱い思いをこれまで感じてきました。

こうした事を踏まえ、やまなみクラブにおきましては、まずは、ワイズメンズ活動の柱でありますYMCAサポート、そして若い人達との協働やその応援、甲府駅北口地域の特性を活かした地域奉仕活動など、クラブ設立の考えに基づいた活動の歩みを一つ一つ着実に進め、継続していく中で、活動の幅を広げ、クラブの充実を図っていく事が大切と考えます。会員の皆様には、これまで同様にやまなみクラブの活動へのご協力を改めてお願いいたします。

結びに、「甲府クラブ」「甲府21クラブ」「富士五湖クラブ」、さらには「あずさ部」「東日本区」の関係者の皆様には、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## ● 甲府の歴史って面白い ● ● 盛り上がった6月例会 ● 米山 俊彦

6月5日(水)、今年度の最後となります6月例会が山梨YMCAで開催されました。

ゲスト卓話は、甲府市教育委員会歴史文化財課の林部光さんをお招きして、「歴史文化財行政の紹介と主催事業」というテーマで、甲府市の歴史文化財に関する公開講座や企画展示、子供達を対象にした歴史教室など、令和6年度に行う事業について説明をいただきました。

甲府市には、市民にはあまり知られていない貴重な歴史文化財がいくつもあり、講演会や展示会を通して市民の関心をもっと高めていきたいとの事でした。

江戸時代に甲府を治めた柳沢吉保は、その時代に甲府の繁栄を築いたにも関わらず、なぜか後世の評判があまり良くないことを残念に思っていて、それを挽回するために「柳沢吉保・吉里を学ぶ特別講座」を計画しているそうです。

かつて、愛宕町にあった石切り場の話からは、甲府城の石垣の堅牢さとともに「愛宕」や「岩窪」といった名前に「石」の文字が入る地域は、地盤がしっかりしている事から甲府の北部を武田信虎公が武田家の本拠地に選んだという説明もありました。

また、明治時代の学校であった藤村記念館の話では、旧字体の「學」の成り立ちに関する話や、老舗の眼鏡店である「セイビドー」が、かつては「精美堂」として水晶細工を扱っていた事、「連雀」の語源は水



運業に由来する「連尺」から来ているという話など、市内の地名や会社名に因んだ話だった事から、遠い所の歴史講義ではなく、歴史を身近に感じながら興味深い話を聴くことができました。

YMCAの子供達にも歴史や文化財の話をしてもらいたいといった要望があったり、時間の立つのも忘れて、質疑応答でも盛り上がった卓話でした。

今回は、テーマが広い範囲に亘りましたが、次には甲府の歴史の中でテーマを1つに絞って、より深

くじっくり聴いてみたいと思いました。林部さん、ありがとうございました。

その後の報告、協議では、前回の例会に提案されていたタイ・チェンマイクラブとのIBC締結については、今後も交流や事業を通してお互いの理解を深める中で、検討をしていく事が良いという結論になりました。

出席者・メンバー：松本・渡辺・福田・米山、ビジター：松村禎夫様(甲府21)、ゲスト：林部光様(卓話者)、平賀佳雅・菊池央人(山梨YMCA)

### 6月例会ニコニコメッセージより

▼貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。重層的な甲府の歴史を一人でも多く、一つでも多く、これからもお伝えしたいと思っております。ご協力、ご参加よろしくお願ひ致します。

(甲府市教育委員会・林部光)

▼甲府歴史講座一覧内容を読ませていただきました。林部氏の卓話は素晴らしく、甲府の歴史を話していただき感動しました。(松本公夫)

▼ゲスト卓話楽しかったです。林部様ありがとうございました。(渡邊 隆)

▼歴史と文化の香りがする街、甲府をみんなで盛り上げていきたいと思いました。(米山俊彦)▼

甲府の街は沢山の歴史スポットがあることを知りとても興味が湧きました。これをYMCAの子どもたちに楽しく伝える方法を考えたいと思います!林部さんのわ

くわくする語り口に惹き込まれました。(福田奈里子)

▼久しぶりに、やまなみクラブさんの例会に参加をさせていただきました。卓話は初めて知ることばかりで、とても刺激的な時間を過ごさせていただきました。

(山梨YMCAスタッフ・菊池央人)

### 役員会報告

▼日時:6月19日(水) 18:30~20:00

▼場所:山梨YMCA

▼出席者:藤原・松本・遠藤(恭範)・渡邊・仙洞田・福田

▼主な協議

・2023-24年度の事業報告、決算報告の確認

・2024-25年度の事業計画、行事予定、役員構成、予算案を協議

・その他、会員増強等の意見交換

## ▼心も十勝晴れ! 東日本区大会報告 ▼

今年度の掉尾を飾る第27回東日本区大会が、6月1日(土)北海道・帯広市の「とちかちプラザ」において開催されました。一日開催ということで、プログラムも通常より大幅に短縮されました。午前中開かれた年次代議員会に最初の方だけ顔を出し、「せっかく帯広に来たんだから」と、昼食に駅ビルで豚丼を食べました。

12時30分からのオープニングセレモニーでは、帯広大谷高校マーチング、とちかち帯広YMCA幼保園児によるリトミックダンスの披露がありました。バナーセレモニーの後の開会式、東日本区アワー1(理事報告他)と続きました。

記念講演は「南極料理人」として知られる西村淳氏。第30次(1988年-1990年)と第38次(1996年-1998年)の2回、南極地域観測隊に参加し、調理担当のひとりとして越冬隊に加わった過酷な経験をユーモアを交えて披露されました。

表彰では、なんと「ブリテン優秀賞」の荣誉に浴しました。編集担当者としては、この程度のブリテンで良いのか申し訳ない気持ちもあり、複雑な心境でした。

閉会式での山田敏明実行委員長の挨拶は、この大会にかけた熱い思いが伝わるものでした。

### 6/2 プライベートエクスカーショ

帯広名物豚丼は前日の昼でクリアーし、あとはお決まりの有名なお菓子屋さんですが、聞くところによれば地元の原料を使っていないと聞き、地元原料使用のもう一社を目指すことになりました。

まずは、40kmほど離れた「共働学舎・新得農場」へ。15年前に帯広で開催された区大会の記念講演者はオーナーの宮嶋望さんでした。心や体に不自由を抱える人たちと数人の仲間によって、敢えて誰の外からの支援を受けずにNPO法人としてスタートされました。奥様の京子さんは山梨出身で、甲府ワイズの鈴木健司さんのお嬢様の羊子さんとは新得教会でのご縁で親しくされているとお聞きしました。アポなしの訪問でしたが、快く迎えていただきました。



【共働学舎にて宮嶋望さん(左)と】



【ブリテン優秀賞を受賞する藤原会長(右)】

晩餐会は「ホテル日航ノースランド帯広」に会場を移し、90歳になられた森田恵三さん(京都ウエスト)の乾杯で開宴、十勝名物の食材をふんだんに使ったメニューで宴が始まりました。久しぶりに会うメンバーも多く、旧交を温めました。この間ホストクラブの趣向を凝らしたプログラムで大いに楽しみました。

天候が少し心配でしたが、現地はまさに「十勝晴れ」で、北海道の爽やかな初夏を満喫した二日間でした。

公式登録者数は318人、甲府やまなみからの参加者は藤原・渡邊・渡邊メネット・福田・仙洞田でした。

(仙洞田安宏)

共働学舎は今年創立50年を迎え、現在長野に二か所、北海道に二か所、東京に一か所120名が共に生き、働き、学び合う大家族だそうです。創立者宮嶋眞一郎の話に「あなたという人は地球始まって以来、絶対いなかったはず。あなたという人は地球が滅びるまで出てこないはずなんです」がありました。苦労の毎日であったと思いますが、宮嶋ご夫妻の話は明るく、楽しい話ばかりでした。

一泊二日の超ハードな3名のツアーでした。そうは言っても、全国レベルのお菓子屋さんは気にかかり、買い物を済ませて一件落着。何やら次のアジア太平洋地域大会は熊本と聞き、気にしている方がいるようです。

(渡邊 隆)

### これからの予定

- ✓7月24日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ✓7月27日(土) あずさ部評議会(松本市)
- ✓8月 7日(水) 8月例会(談露館:部長公式訪問)
- ✓8月15日(火) 前期区費納期
- ✓8月8日~11日 国際大会(タイ・チェンマイ)
- ✓8月24日(土) 臨時代議員会(WEB)
- ✓9月 4日(水) 9月例会(山梨YMCA)
- ✓9月6日~8日 ユースボランティア・リーダーズフォーラム(東京Y山中湖センター)



## 第26回山梨YMCAインター ナショナルチャリティラン

松本 公夫 (実行委員長)

6日9日(日)甲府市小瀬スポーツ公園補助競技場で開催されました。当日は曇り日で、6月としてはスポーツ日和でした。開催前日迄、YMCAのスタッフ、各ワイズメンズクラブ、その他関係者等のご協力により円滑に遂行されました。来賓の方々のご挨拶、担当者により注意事項、レース説明等、そして定番YMCAの歌、チアダンスに合わせて準備体操を行い開始されました。

今回は特にインターナショナルチャリティランに基づき、多文化共生を念頭に、外国人も率先してお誘いしました。その結果、昨年より多い10か国からの留学生等参加され交流もできました(終了後、留学生からは、素晴らしい体験交流ができた感想を述べていました。)

今年もゲストランナーとして、山梨学院大学駅伝の陸上部から10名、スポーツ科学部から10名も参加していただき、陸上部員は、駅伝の本番さながらの力走で参加者や見物者も感激し、特に小学生等喜んでいました(陸上に興味を持った子供達もいたと思います。)ゴールした早い駅伝選手達は、遅れている選手の伴走等もしていただきました。

最後に、今年も素晴らしいインターナショナルチャリティランが開催でき、参加企業、一般者、学生、幼児の親御様関係者、ワイズメンズクラブの皆様には感謝申し上げます。

### 《チャリティランの記録》

- ・チーム協賛 48団体 ・支援金 30口
- ・物品提供(抽選会景品等) 21団体
- ・参加ランナー 213人 ・協力ボランティア 153人



中田純子山梨YMCA総主事に支援金“小切手”  
2,035,000円を贈呈する松本実行委員長

## 2023年度を振り返って

直前会長 藤原 一正

2023年度甲府やまなみクラブの会長として様々な活動に参加させていただきました。設立からほぼ2年経ち、思えばあっという間であったと思うとともに、コロナが明けて以降、海外などにも行く機会があり、非常に充実した時間であったと思います。

会長就任後、チェンマイの西村隆夫さんにお会いしてチェンマイワイズメンズクラブと交流させていただいたり、ジュネーブの国際本部に立ち寄りたり、香港でアジア太平洋地域大会に参加させていただいたり、非常に楽しく国際交流させていただきました。

また、あずさ部では甲府での会議はもちろんのこと、長野や東京での会議、東日本区大会では北海道帯広に立ち寄るなど日本各地でも様々な機会でも他クラブの皆様とも交流できたことはよかったと思っております。次年度は新会長として米山さんが新たな方向性で率いてくださると思いますので是非よろしく願い申し上げます。

### 今月のことば

土橋 順

「私はこの言葉を言うために戻ってきたんだ。ありがとう。」

現代の人間関係は「加害／被害」の図式に捕われ、優越性を証明し、防衛的な反射行動を行う「姑息」なあり方が蔓延している。

この言葉は、昨年放映されたドラマ「最高の教師」で、1度目の人生でいじめにより自殺することになった芦田愛菜さん演じる女子高生が、2度目の人生の中で、自分に好意を寄せる同級生に想いを返すシーンのものだ。

感謝の心を伝えることだけが、1度目の人生を生きる私たちが後悔することなく、豊かな人間関係を取り戻す唯一の方法である。この言葉は、私たちに「あり方」を問うている。

### お詫び

先月号のあずさ部各クラブを食べ物に譬える記事、東京八王子クラブが欠落していました。改めて紹介致します。

### ▼ 東京八王子クラブ 「五目ちらし」

彩り豊かで、楽しく華やか。乾物もあれば新鮮な魚介もある。別々に味を主張しながら全体の調和が良く、だれにも好かれます。どこを切り分けてたべてもハズレがないのが嬉しい。

### おことわり

山梨YMCA中田純子総主事のコラムは、クラブのメーリングリストで配信致します。